

豊臣政権と美濃国

2026
3/1 [日]
13:30→15:00

参加
無料



播磨 良紀
中京大学名誉教授

織田信長死後権力を掌握した豊臣秀吉は、天正13年（1585）関白に就任し、天下統一事業を進めていった。秀吉は支配の拠点となる城を大坂に築き、周辺の諸国には豊臣一族をおいて畿内を中心とする政治体制を作り上げた。一方それに隣接する美濃国は、信長やそれ以後も織田一族が統治し、当時の政権の中心となった地であった。豊臣政権下でも、美濃国は主要大名や豊臣一族が統治し、同政権を支える重要な国であったと考えられる。本講演では、豊臣政権期の美濃国の様相をみていき、同政権における美濃国的位置づけを検討していく。

会場
岐阜県博物館
けんぱくホール

定員
120人 要予約・先着順

申し込み
ホームページから
2/1 AM8:30 受付開始

連絡先（岐阜県博物館）
岐阜県関市小屋名1989
0575-28-3111

開催中
博物館・歴史資料館
連携企画展
豊臣秀吉と美濃
2/14-3/29
△入館券が必要です

お申し込みは
こちらから

